

エルサルバドル政治経済月報

(2018年3月分)

2018年4月
在エルサルバドル大使館

[大使館のビジョン]

エルサルバドルとの友好親善関係を増進し社会発展に貢献しながら日本の国益と国際公益の向上を目指す。

[大使館のミッション]

1. 日本の平和や繁栄を守るための外交政策の構築と実行。
2. エルサルバドルの世論に働きかける広報・文化事業の推進。
3. 在留邦人の生命と財産の保護，日系企業の活動支援。
4. 政治経済情報の収集・分析。
5. 自立的かつ持続的な開発への協力。
6. 服務規程を遵守し，風通しの良い職場環境の維持。

内政

1. 国会議員・全国市長選挙

4日実施され，与党FMLNは歴史的敗北を喫し，8議席マイナスで23議席，最大野党ARENAは2議席プラスの微増で37議席。このように国会での二極化が解消され，他の政党との連携によるARENAの単純過半数獲得は容易となり，他方，サンチェス・セレン政権の議会運営は困難となる見込み。市長選挙では首都サンサルバドル市及び第3のサンタナ市はARENA，第2のサンミゲル市はFMLNの候補が当選。

2. 内閣改造

19日に実施。オルティス副大統領が新たに官房長官を兼任，ロレンサーナ官房長官の報道官への転任，経済関係閣僚（財務大臣，経済大臣）の交代。チカス報道官の事実上の解任。同時に，上下水道公社（ANDA）総裁等の交代も発表。

3. 副大統領の大統領選挙への出馬取りやめ

21日，「オ」副大統領が明年の大統領選挙への出馬取りやめを発表。

4. 4月22日，ARENA党内選挙にてCALLEJA氏が大統領選挙公認候補に指名された。（詳細は4月分にて）

外交

1. ロメロ神父の列聖

7日，フランシスコ法王はオスカル・ロメロ神父の列聖（聖人にすること）する勅令に署名。なお，同神父は2016年3月に同じく法王庁から列福（聖人に次ぐ福者にすること）されている。

2. 外相のチリ訪問

11日、マルティネス外相がビニョラ・チリ大統領の就任式に出席するためチリを訪問。

経済

1. 東部経済特区設置構想

ロドリゲス経済大臣は現在構想中の東部経済特区について、市民税と法人税を免除する方針である旨発言した。なお、砂糖、コーヒー、繊維業については対象外とする方針であり、免税対象は製造業、農産加工業、再生可能エネルギー、漁業関連となる予定。

2. 台湾コーヒーミッションの当国訪問

2日、28名の台湾政府関係者とコーヒー・カカオバイヤーがエルサルバドルを訪問した。同代表団はカカオ・コーヒーのテイasting会に参加し、約40以上の高品質のカカオ・コーヒーを試食・試飲した。また、エルサルバドル企業と台湾企業のビジネスマッチングも行われた。

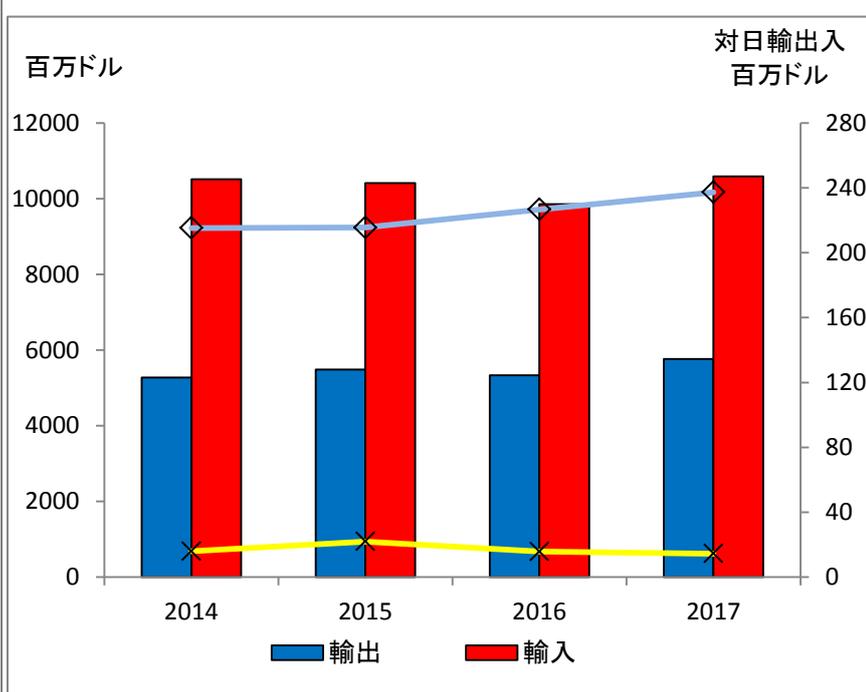
駐エルサルバドル台湾大使は、台湾とエルサルバドルのFTA締結から10年間で、エルサルバドルからの台湾への輸出が766%増加した旨述べた。

3. フィッチ社による当国経済見通し

格付会社フィッチ社は同社レポートにおいて、2018-19年のエルサルバドルの経済成長率が2.5%となる旨公表。また、3月4日の国会議員選挙における野党ARENAの勝利を受け、政治・経済状況が中期的に改善していく旨公表。

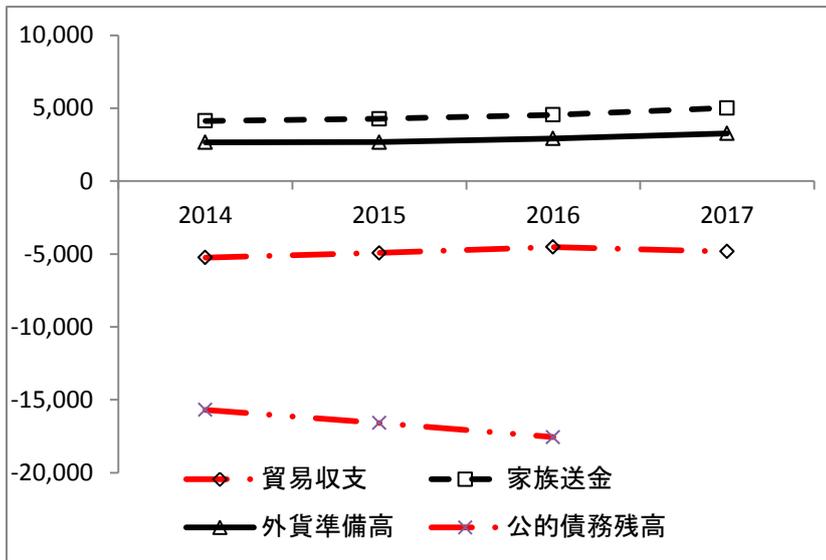
4. IMF 報告書

IMFは2月に経済・財政状況の調査のためにエルサルバドルを訪問し、3月27日に訪問結果の報告書を公表。同報告書において、財政改善のために付加価値税(VAT)の2%増税、固定資産税の導入を推奨した。IMFは当国の財政状況が徐々に改善していることを認めつつも、今後2年間で対GDP比2%の追加的財政調整が必要である旨公表。



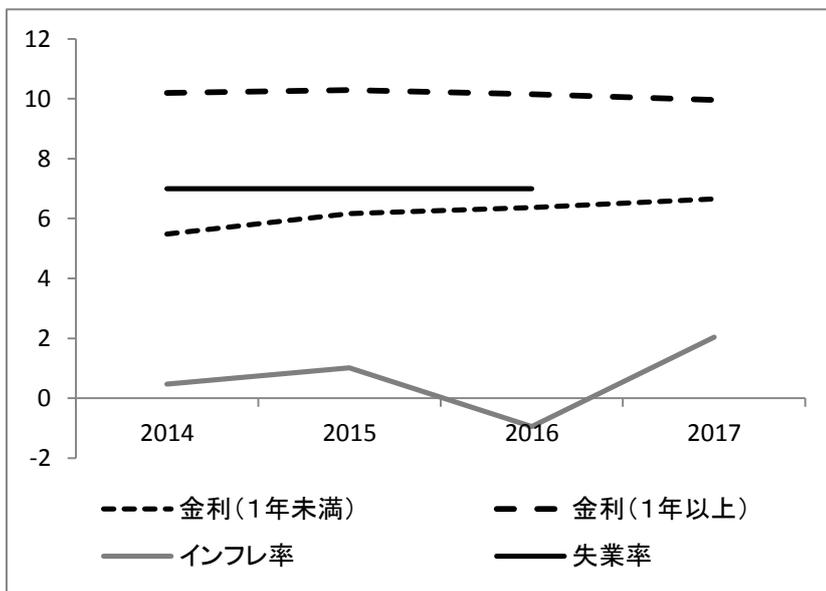
・2017年度輸出額は前年比で6.3%増加し、57億6千万ドルとなった。中でも、衣服、繊維、砂糖の輸出が輸出額増加に寄与した。

・輸入に関しては、前年比で7.8%増加し、105億9,200万ドルとなった。



・輸出は増加したものの、貿易赤字は前年比で9.6%増加し、48億3,200万ドルとなった。

・2017年の家族送金額はここ数年で最も高くなり、前年比で9.7%増加し、50億2,100万ドルとなった。米国からの家族送金は全体の約97.2%を占める。



・2017年度のインフレ率は2.04%となった。主に、住居、水、電気、ガス価格が上昇したことに起因。

出所：中央銀行，経済省統計局より作成

治安

【主要事件・報道】

1. 当地主要紙の報道によると、3月の殺人件数は310件となり、1月～3月の合計は939件（前年同時期よりも12%増加）となった。当国治安当局によると、犯罪組織内の粛正による殺人及びライバル犯罪組織同士の抗争等が主な原因としている。

2. 3月4日に国政選挙が行われたが、治安上の問題は発生せず、選挙期間中の殺人件数はほんのわずかであった。選挙結果としては、ARENAが勝利したかたちとなったが、現在、2016年3月から開始されたマラスに対する特別措置について、継続か破棄かを議会で議論されており、今後の治安対策がどのような方向に進んでいくのかを注視していく必要がある。

3. 当地主要紙の報道によると、本年3月までの治安部隊とマラスの銃撃戦は119回行われ、マラス側の死者は70名となった（銃撃戦及び銃撃戦による死亡者数は減少）。

4. 3月26日、サンサルバドル市役所付近（la alameda Juan Pablo II 通り沿い）のパン屋に、バイクに乗った犯罪者が押し入り、銃器にて発砲、パン屋の主人が殺害された。治安当局によると、犯行動機等については不明であり、犯人の逮捕には至っていない。

【主な邦人居住地区及び観光地治安情報】

1. 3月中のサンサルバドル市サンベニート地区及びエスカロン地区の殺人発生件数は0件。
2. 3月6日夜間、サンサルバドル市エスカロン地区（la calle al Volcan 通りと la alameda Juan Pablo II 通りの交差点付近）にて、FMLN 議員を乗せた車両が信号で停止した直後に、バイクに乗った二人組の強盗犯に拳銃で脅され、携帯電話を奪われる事件が発生した。車両に同乗していた議員のボディーガードが逃走した強盗犯を追尾し、1名の身柄を確保、残りの1名は逃走した。本事件に関しては、計画的に議員の車両を狙ったわけではなく、突発的に犯行に及んだものと見られている。

比較的安全と言われているエスカロン地区であっても、時間と場所を間違えれば、犯罪被害に遭う可能性は高くなるため、夜間における不要不急の外出は避ける必要がある。

【観光地等における危険度レベル】

レベル1: 十分注意区域

レベル2: 不要不急の渡航中止区域

国立ダビッドJ・グスマン人類学博物館(MUNA)	サンサルバドル旧市街
ティン・マリノ児童博物館	平生三郎公園
エルサルバドル美術館(MARTE)	サンサルバドル市の動物園
プレシデンテ劇場	プエルタ・デル・ディアブロ
サンサルバドル近郊のゴルフ場	
ベンゴア球場	
サンサルバドル市国立民芸品博物館	
クスカトラン・スタジアム	
サンサルバドル火山	
カフェタロン・フットサルコート	
ラ・リベルタ県のビーチ	
イロパンゴ湖	
サンタテクラ旧市街	
コアテペケ湖	
セロベルデ自然公園	
エル・ピタル山	
ラ・パルマ市	
サンタ・テレサ温泉	
スチト旧市街	
サン・アンドレス遺跡	
タスマル遺跡	
カサ・ブランカ遺跡	
サンタ・アナ旧市街	
オロメガ湖	
エル・ホコタル湖	
サン・ミゲル市	
オロクイルタ市	

治安統計
主要 11 犯罪（2 月）過去 2 年との同時期の比較

